

【茨城県教育目標】
ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性を培う
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力しあう心を育てる

【竹園学園教育目標】 竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成

【竹園学園(小中一貫教育)9年間で目指す児童生徒像】 CREATIVE TAKEZONO 自主 実践 創造
自ら学び続ける・心豊かにかかわりあう・やり遂げることができる児童生徒
(社会力の育成)

【つくば市学校教育指導方針】
みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園～自己実現できる学校・みんなが支え合い、みんなが生き生きとした学校～

【つくば市教育大綱】
一人ひとりが幸せな人生を送ること

【学校教育目標】

笑顔がいっぱい楽しい学校ー課題にチャレンジ・よいとこ発見・つながる喜びー

【組織目標】

- 1 学んだことを基に自分の考えを表現できる授業づくり
- 2 互いのよさやがんばりが実感できる学級づくり
- 3 持ち味を生かして協力し合う学校づくり

目指す教師像

- 学び続ける
- 人間性豊か、使命感をもつ
- 他者と協働し目標の具現化を図る

【校訓】

なかよく(徳)
かしこく(知)
たくましく(体)

管理から
自己決定へ

創造的：目標に向かってやり抜く

- 他者と協力し、目標を共有して体験活動や学校行事に取り組めるようにする。
 - 児童自身が考え、学級や学校をよりよくするためのルールメイキングを行う。
 - ・決定したことは実行する。
 - つくばスタイル科での学びを発信する。(探究的な学び)
 - ・課題発見⇒協働解決⇒STEAMの力⇒相手意識、目的意識をもって発信
- 【数値目標】新しい考えに気付くことができる **87%** (学校評価の肯定的回答)

主体的：自分の考えを表現できる

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「竹園スタイルの学び」による授業改善
 - ・問いから課題を生み出す
 - ・対話が生まれる発問
 - ・多面的・多角的な視点から熟考する活動
 - ・ICT活用と教科の見方・考え方の視点からの振り返り
 - 単元を通じた探究的な学びと見取り
 - ・単元を通して身に付けたい3つの資質能力(ゴール)の明確化
 - ・新たにチャレンジできる課題の準備
 - ・ICT・新聞・本の積極的活用
- 【数値目標】自分の考えを相手に分かるように伝えられる **80%**
友達の意見を受け入れ、新しい考えに気づくことができる **80%**

教えから
学びへ

協働的：よさやがんばりが実感できる

- 自分から進んで相手に伝わるあいさつをする。
 - 間違いや失敗から学べる学級経営
 - ・聴き合い、「教えて」と言える関係づくり
 - ・よいこととして認め合う場の設定
 - ・スモール・ステップの目標づくりと成功体験につながる支援
 - 自他共に異なる意見や多様性の尊重
 - ・話し合い活動の位置付け
 - ・縦割り班活動での異学年交流・居住地校交流における体験
 - いじめの未然防止
 - ・児童による課題解決のための話し合い、合意形成、意思決定
- 【数値目標】自分から進んであいさつをしている **90%**
友達のよさやがんばりをみつけている **90%**
いじめはどんなことがあってもいけないことだ **100%**

認知能力偏重
から非認知能力の再認識へ

【研究テーマ】

児童生徒の主体性を高め、協働力、創造力を育成する教育ー多面的・多角的な視点から熟考する活動を通してー

小中一貫教育

- 9年間の系統表に基づく指導改善
 - 9年間の学びの蓄積・つながりを踏まえたキャリア教育
 - ・ICT、「いばらきキャリア・パスポート」の活用
 - 学園企画会・研修会での「クリティカルな思考」理解の深化
 - 学園保健委員会での共通課題とその対策
 - 想定外を想定した避難訓練の実施
- 【数値目標】9年間の学びの連続性を意識している **100%**

特別支援教育の推進

- 自己のもつ能力や可能性の伸長
 - ・一人一人の教育的ニーズの把握・情報共有
 - ユニバーサルデザインの視点による授業・環境づくり
 - 保幼小中及び関係機関等との連携
 - ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用
 - ・保護者との定期的な面談の実施
- 【数値目標】心配なことがあったら相談できる **95%**

社会に関わられた教育課程 安全・安心な学校づくり

- OPTAボランティアや外部講師のリスト作成・活用
 - コミュニティ・スクールでのビジョンの共有、地域との連携・協働
 - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの協力体制
- 【数値目標】地域資源や人材を活用した教育活動の実践 **70%**

教員の資質向上と働き方改革の推進

- 週2日5時間の週時程・児童と向き合う時間の確保
 - 得意な分野で学校運営参画意識の向上
 - ・教職員との対話(働きやすさ×働きがい)で幸福度アップ
- 【数値目標】職員の平均時間外在校等時間月 **45**時間以内
年間 **360**時間以内

【本校の課題】R5年度学校評価アンケート達成肯定評価80%以下の項目

- 休み時間はからだを動かしている 児童**75.8%** 保護者**84.3%** 教職員**85.3%**
- 自分の考えを相手に分かるように伝えられる 児童**78.2%** 保護者**77.9%** 教職員**85.3%**
- 地域の資源や人材を活用している 教職員**55.0%**
- 昨年度より、勤務時間の在校時間が短くなっている 教職員**76.5%** ☆R5年度平均時間外在校等時間**28.35**時間

【本校のよさ】★研修による授業力向上 教職員**97.1%** ★学校の勉強は分かる 児童**93.3%** ★学校は楽しい 児童**89.0%**